#### Ⅱ 重点事項(北上市地域福祉活動計画 基本目標)の活動状況

#### 基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- ボランティア活動に興味や関心を持つ方と、ボランティアを募集したい団体等をつなぐことを目的として、新たにボランティア募集情報一覧「つなぐ」を作成・発行し、ボランティア活動の促進や活性化を図ることができました。
- 企業等からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行い、企業等の継続的な地域貢献活動を支援しました。
- 市内学校(小・中・高校及び専門学校)の先生方を対象に、福祉教育及びボランティア活動の更なる充実に向けて、当協議会や各学校の取り組みの紹介、今後の推進方法等について意見・情報交換を行いました。
  - (1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

をつくるという意識を醸成する機会をつくる		
事業名、内容及び実績	成果や課題等	
1 きたかみ社協だより発行事業	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や	
(1) きたかみ社協だより	福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓	
① 発行回数:4回	発を図りました。また、特集記事を掲載するなど	
(発行月:4月、7月、9月、2月の第3週	紙面の構成を工夫し作成・発行しました。	
金曜日に発行)	なお、発行回数の減回に伴う情報量や適時性等	
② 発行部数:156,192部	については、ホームページやFacebookページを有	
(1回 約39,048部)	効に活用し可能な限り補完しました。	
	【指標】広報発行 年4回	
	【結果】広報発行 年4回	
(2) ボランティア通信	ボランティアに関する情報を収集し、「ボラン	
① 発行回数:3回(社協だよりに折込み)	ティアみみより情報」として全世帯に配布しまし	
② 発行部数:117,148部	た。作成にあたっては、ボランティア活動の様子	
(1回 約39,049部)	が分かる写真等を掲載し、ボランティア活動をよ	
	り身近に感じてもらえるよう意識した情報発信を	
	行いました。	
(3) ホームページ等の運営、管理	ホームページのリニューアルを行い、検索の一	
① ホームページアクセス数:9,119回	助となるよう当協議会事業や情報を分野ごとに整	
② Facebookページアクセス数:8,684回	理しました。	
	また、時機にあった情報提供・発信をするため、	
	「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページ	
	及びFacebookページを活用し、効果的・多角的な	
	情報発信を行いました。	
	【指標】SNS閲覧回数18,000回	
	【結果】SNS閲覧回数17,803回	

#### 2 北上市民福祉大会

(1) 第33回北上市民福祉大会

① 期 日:6年11月20日(水)

② 会 場: さくらホールfeat. ツガワ(大ホール)

③ 参加者:500名

④ 表 彰:28名

• 社会福祉事業功労者 13名

• 社会福祉奉仕功労者 9名

・共同募金運動功労者 1名

・褒賞(在宅介護) 4名

・褒賞(自立更生) 1名

⑤ 記念講演

演題:「子ども食堂・子どもの居場所

づくりから地域の寄り所へ

講師:寄り処たすけ

店長 松本まゆみ 氏 (一社)見守り情報ラボ 代表理事 小川晃子 氏

⑥ オープニングステージ

社会福祉法人もくれい会たちばなこども園「YMCA」

(2) 第77回岩手県社会福祉大会

① 期 日:6年11月13日(水)

② 会 場:岩手県民会館(大ホール)

③ 表 彰:43名(北上市分)

· 岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 2名 永年勤続功労者 3名

· 岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 1名

· 岩手県民生委員児童委員協議会長 表彰 37名

#### 成果や課題等

支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域 社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更 なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発 展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表する ことを目的として開催しました。

記念講演では、地域の居場所づくりを通じた子育て支援や団地再生に向けた活動の様子等を、動画を交えながらわかりやすく紹介いただき、今後の取り組みの参考となる貴重な機会となりました。また、地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図ることができました。

【指標】参加者800名

【結果】参加者500名

以下は、事業名、内容及び実績の続き

① 出店販売(7団体) あけぼの、しらゆり工房、とばせ園、 萩の江、北萩寮、ワークステーション きたかみ、ハートショップまごころ

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、 共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が 共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福 祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を 表しました。

# 事業名、内容及び実績

#### 3 ふれあい20歳のつどい

① 期 日:7年1月12日(日)

② 会 場:ホテルシティプラザ北上

③ 参加者:61名(うち対象者10名、家族15名)

④ 内容:記念写真撮影、式典(ミューズ

コーラス隊の合唱

#### 成果や課題等

心身に障がいを持つ20歳の方とその家族を対象 に、節目のお祝いと今後の活躍を祈念し式典を実 施しました。

また、北上市20歳のつどいと連携を図り、誘導や付添者の入場等に配慮し、当つどい又は北上市20歳のつどいいずれかに参加できるよう環境づくりに努めました。

【指標】出席率100%

【結果】出席率 58% (メッセージ出席を含む)

#### 4 敬老会事業への支援【市交付金事業】

① 実施箇所数:67地区

・通常開催(式典等実施)60地区

• 記念品配付

6 地区

• 開催中止

1 地区

② 該当者:14,881名 ③ 出席者:2,648名

#### 成果や課題等

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者に敬意 と祝意を表するため、各地区で開催する敬老会を 支援しました。

今年度は飲食を伴う会を開催した地区が増加 し、出席した敬老対象者からは久々の開催を喜ぶ 声が聞かれました。

なお、例年同様、北上市の交付金に加え、当協議 会からも助成金を交付しました。

【指標】出席率30%

【結果】出席率18%

#### 事業名、内容及び実績

#### 5 地域福祉懇談会

#### (1) 地域福祉懇談会

① 期 間:6年7月2日から7月12日

② 参加人数:475名

③ 実施箇所:14カ所(支部別参加人数)

· 黒沢尻北 53名 · 黒沢尻東 45名

・黒沢尻西 33名 · 立 花 28名

·飯 豊 34名 ·二 子 19名

・更 木 26名 ·黒 岩 22名

·口 内 23名 ·稲 瀬 19名

・相 去 54名 ・鬼 柳 28名・江 釣 子 43名 ・和 賀 48名

(2) 北上市PTA連合会との懇談会

① 期 日:6年12月5日(木)

② 会 場:北上市総合福祉センター

③ 参加者: 28名(市P連20名、社協8名)

④ 内 容:情報及び意見交換

「北上市や自分の住む地域の福祉・

生活課題について」

「生活課題の解決方法について」

「社協活動に期待すること」

#### 成果や課題等

北上市が策定した「第4次北上市地域福祉計画」 と当協議会が策定した「第5次北上市地域福祉活動計画」について、両計画を広く市民に周知する とともに、地域の福祉課題や福祉全般に関わる情報及び意見交換を行いました。

特にも福祉に携わる担い手の確保は、地域の役員等の活動内容の周知、福祉に携わる関係者の負担軽減、若年層の福祉活動に対する意識の醸成を図ることが担い手を確保するうえで大切であるなど今後の福祉活動を推進するうえで、参考となる意見交換を行うことができました。

また、若い世代や福祉関係以外の団体等と意見 交換では、新たに北上市PTA連合会と懇談会を 行い、担い手の確保や子ども達が福祉に興味・関 心を持ちながら地域福祉活動に参加する方法など 今後当協議会で取り組むべき課題や解決に向けた 方向性、今後期待される取り組み等について意見 交換することができました。

【指標】案内に対する参加率60% 若い世代または福祉関係者以外との 懇談会 2団体

【結果】案内に対する参加率55.8% 若い世代または福祉関係者以外との 懇談会 1団体

#### 6 あいさつ運動推進事業

① 黒沢尻北地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:6カ所(公民館) ポスター掲示:6枚(公民館) チラシ配布:5,500枚(全戸配布)

② 黒沢尻東地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:15カ所 (通学路、公民館等) ※黒沢尻27区は通年で立哨活動を実施

③ 黒沢尻西地区

実施期間:6年4月9日~4月26日 のぼり旗設置:58カ所(公民館、主要道路等) ポスター掲示:10枚(行政区掲示板、公民館等) チラシ配布:83枚(地区内回覧)

④ 立花地区

実施期間:6年4月1日~4月30日 のぼり旗設置:2カ所(交流センター) ポスター掲示:1枚(交流センター) チラシ配布:67枚(地区内回覧)

⑤ 飯豊地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:1カ所(交流センター) チラシ配布:15枚(地区内回覧)

⑥ 二子地区

実施期間:6年5月1日~5月31日 のぼり旗設置:6カ所(交流センター、小中学校等) ポスター掲示:32枚 (自治会掲示板、小中学校等) チラシ配布:1,162枚 (全戸配布)

⑦ 更木地区

実施期間:6年4月1日~4月30日 のぼり旗設置:12カ所(交流センター、小学校等) ポスター掲示:13枚(自治会掲示板等) チラシ配布:347枚(センターだより回覧)

⑧ 黒岩地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:2カ所 (通学路等)

ポスター掲示: 2枚 (交流センター、掲示板)

チラシ配布:19枚(地区内回覧)

#### 成果や課題等

地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に"あいさつ"を行う強化月間を設定し、近隣同士の助け合い精神を醸成しました。

また、運動を推進するために必要な資機材(の ぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター)を準備し、取 組地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りま した。

地域の既存の取り組みと併せて実施する方法の 提案等により、全地区で取り組みを行うことがで きました。

【指標】取組地区14カ所 【結果】取組地区14カ所

以下は、事業名、内容及び実績の続き

⑨ 口内地区

実施期間:6年4月10日~5月31日 のぼり旗設置:1カ所 (交流センター) ポスター掲示:9枚 (交流センター、公民館等)

チラシ配布:67枚(地区内回覧)

⑩ 稲瀬地区

実施期間:6年4月29日~5月31日 のぼり旗設置:3カ所 (公民館、主要道路等) ポスター掲示:2枚 (公民館) チラシ配布:249枚 (全戸配布)

① 相去地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:15カ所 (交流センター、小中学校等) ポスター掲示:8枚 (交流センター等) チラシ配布:181枚 (地区内回覧)

② 鬼柳地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:9カ所 (交流センター等) ポスター掲示:2枚 (交流センター、小学校) チラシ配布:112枚 (地区内回覧)

① 江釣子地区

実施期間:6年4月8日~5月2日 のぼり旗設置:8カ所 (交流センター、通学路等) ポスター掲示:1カ所 (支部事務室) チラシ配布:305枚 (地区内回覧)

⑭ 和賀地区

実施期間:6年4月1日~5月31日 のぼり旗設置:8カ所 (交流センター、公民館) ポスター掲示:10枚 (交流センター、公民館)

#### 7 社協出前講座(講師派遣事業)

① 派遣回数:7回

• 一般:7回

② 参加人数: 延べ178名

③ メニュー登録数:11(北上市出前講座登録数)

#### 成果や課題等

地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の 概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、 福祉に関する学習や研修を支援しました。

学校からの依頼はなく、市民からの依頼のみと なりましたが、社会福祉協議会の業務や日常生活 自立支援事業に対する理解が図られました。

【指標】講師派遣10回 【結果】講師派遣7回

(2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の 開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

## 事業名、内容及び実績

#### 1 ボランティア講座

#### (1) ボランティア発見講座【基礎編】

① 期 日:6年7月27日(土)

② 会 場:北上市総合福祉センター

③ 参加者: 20名 (高校生20名)

④ 内 容:ボランティア活動についての

講話、キャップハンディ体験、 活動報告、ワークショップ

#### (2) ボランティア発見講座【実践編】

① 期 日:6年7月30日(火)~10月13日(日)

② 会場等:北上市総合福祉センター、エスカ ールデイサービスセンター、あい さり認定こども園、たちばなこど も園、障がい福祉サービス事業所 とばせ園、放課後等デイサービ ス事業所 COCO. R すてっぷ、北上総

合運動公園、広瀬川周辺

③ 参加者:18名(高校生18名)

④ 内 容:配食サービス事業配送ボランテ

ィア同行、高齢者とのふれあい や介護補助、保育補助、農作業 補助、放課後等デイサービスで の余暇活動支援、ランフェスき たかみ運営補助、河川清掃

(3) 親子ボランティア講座(仮称) ※実施見送り

## 成果や課題等

福祉やボランティアに関する知識と関心を深め 福祉意識の向上を図り、「支え合い」の心を育むこ とを目的として、学生向けの講座を開催しました。 ボランティア発見講座の基礎編では、学生を対 象にボランティア活動についての講話や北上青年 会議所による活動報告、ボランティア活動を考え るワークショップを実施し、福祉やボランティア 活動に対する理解を深めました。また、キャップ ハンディ体験を通して、障がい者への接し方や支 援する際の留意点等を学びました。

実践編では、市内のボランティア団体や北上市 社会福祉法人連絡会等が募集する活動の中から、 参加者が希望する活動を選択し、自主的にボラン ティア活動を行いました。

なお、新たに実施予定としていた「親子ボラン ティア講座」(仮称)は、実効性のある内容の企 画・決定に至らなかったことから実施を見送り、 令和7年度に向けて継続検討することとしまし

【指標】参加学校数5校、親子向け講座実施

【結果】参加学校数3校、親子向け講座未実施

2 福祉協力員活動事業(住民グループ支援事業)【市委託事業(一部)】

(1) 委員会

第1回

① 期 日:6年6月3日(月)

② 会 場:北上市総合福祉センター

③ 参加者:13名

④ 内 容:

・慶弔見舞金支給規程の制定について

・総会欠席者の委任方法の検討について

・6年度役員研修について

・活動の手引きについて

(2) 総会及び全体研修会

① 期 日:6年4月19日(金)

② 会 場: さくらホールfeat. ツガワ(中ホール)

③ 出席者:164名

④ 内 容:

ア総会

・5年度事業報告及び収支決算について

・6年度事業計画及び収支予算について

イ 全体研修会

・ 演題: 「福祉協力員活動を円滑に行うために」

講師: CO. COROサポート

代表 藤村 七美 氏

#### 成果や課題等

地域福祉活動の推進役として要援護者に対する 見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や 福祉に関する情報提供に努めました。

また、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。

少子高齢化や核家族化、生活スタイルの変化などにより、多様化・複雑化した課題を抱えた世帯が増加しており、高齢者以外の支援対象者への見守りや訪問、その他の活動が増加しました。

【指標】事業認知度30%

【結果】事業認知度25%

以下は、事業名、内容及び実績の続き

(3) 訪問活動

① 福祉協力員数:324名

② 活動回数:延べ85,478回

※月別状況等はP34参照

#### 事業名、内容及び実績

- 3 ボランティア活動センター事業
  - (1) 運営委員会の開催

① 期 日:6年10月9日(月)15名出席

② 期 日:7年2月25日(月)10名出席

(2) ボランティア登録者数:154名(個人)

#### 成果や課題等

ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、 当協議会で行っているボランティア活動や団体の ボランティア活動に関する情報提供を行い、マッ チングを行いました。

また、運営委員会において、当協議会事業及び 市内のボランティア活動を推進する取り組み等に ついて委員から意見を頂戴しました。

【指標】ボランティア活動実践者個人170名

【結果】ボランティア活動実践者個人154名

(3) ボランティア保険

① 加入者数:3,109名 (活動保険のみ)

② 事故件数: 1件(活動保険1件、行事保険0件)

・除雪活動に向かう途中、積雪により転倒 し手首骨折(令和7年2月発生)

(4) ボランタリー活動情報ボード事業

① 掲示登録団体:10団体

② 掲示依頼枚数:4枚

ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。

なお、発生した事故のケガの補償は、現在手続き中です。

情報ボード(さくらホールfeat.ツガワ、生涯学習センター、総合福祉センター)を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。

(5) 日曜大工ボランティア

活動: 0件(申請依頼0件)

- (6) 企業等の地域貢献活動との連携
  - ① ㈱丸片ガスによる河川清掃及び枝葉 剪定:1回
  - ② パンチ工業㈱北上工場による赤い羽根 共同募金街頭募金活動:1回
  - ③ 東北電力ネットワーク㈱花北電力セン ターによる高齢者世帯の電気設備点検 及び清掃活動:1回
  - ④ F C北上(社会人サッカーチーム)に よる高齢者施設の除雪活動:1回
  - ⑤ 企業からの相談に対する情報提供: 3件
- (7) ボランティア募集情報一覧「つなぐ」発行
  - ① 掲載及び応募状況

ア 発行回数:9回

※毎月第2水曜日発行

イ 掲載申込件数:24件

ウ活動実績:4件

工 募集終了:8件

② 配架場所

ア 北上市総合福祉センター

イ さくらホールfeat. ツガワ

ウ 北上市生涯学習センター

#### 成果や課題等

一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等 に対するボランティア派遣ですが、活動件数はあ りませんでした。

技術を持つボランティアの確保に努め、必要な 方に支援ができるよう事業の周知を行います。

企業等からのボランティア活動や地域貢献活動 の相談に応じ、支援を必要としている方や団体と のマッチングや情報提供を行いました。

また、継続して赤い羽根共同募金運動や地域清 掃活動等に取り組む企業もあり、活動の定着化が 図られてきています。

【指標】企業等との連携6社

【結果】企業等との連携4社

ボランティア活動に興味や関心を持つ方と、ボ ランティアを募集したい団体等をつなぐことを目 的として、新たに募集情報一覧を発行しました。

多種多様なボランティア活動情報を掲載・提供 し、ボランティア活動のマッチングを行うことが できました。

今後も北上市内のボランティア情報を掲載・発 信し、双方のマッチングを行い、ボランティア活 動の促進や活性化を図ります。

(3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たち に福祉について"ふれる"機会を増やす

#### 事業名、内容及び実績

- 1 ハウスクリーニング☆プロジェクト
  - (1) 上中除草隊プロジェクト (黒沢尻北地区)
    - ①期 日:6年8月7日(水)
    - ② 内 容:高齢者や障がい者宅の草取り
    - ③ 参加者:16名(上野中学生10名、民生委員

5名、黒北支部職員1名)

- ④ 実施世帯数:6世帯
- ⑤ 支援内容:資料等の情報提供
- (2) 黒沢尻西地区ハウスクリーニング☆ プロジェクト
  - ① 期 日:6年7月29日(月)

#### 成果や課題等

実施を希望する2地区(支部)が主体的に取り 組めるよう必要に応じて支援を行いました。

#### 【事業の経過】

子ども達が夏休みや休日を利用し、一人暮らし 高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問し て家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通し て、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深める ことを目的に実施していました。

これまで一定の成果等はありましたが、時勢の 変化(生徒の部活動や習い事、対象世帯の選定等) ② 内 容:高齢者や障がい者世帯の家の | により事業実施が難しい状況にあることから、本

窓ガラス拭きと草取り

③ 参加者:24名(黒沢尻西小学生14名、専修 大学福祉教育専門学校2名、民生委 員4名、黒西地区交流センター及び

黒西支部職員4名)

④ 実施世帯数: 4世帯

⑤ 支援内容:学校との連絡調整、物品の

貸出し

#### 成果や課題等

部事業としては廃止し、実施を希望する地区(支部)が主体的に取り組めるよう支援する方向に見直しを行いました。

#### 事業名、内容及び実績

2 車いす修理ボランティア事業

① 車いす修理ボランティア実施校: 黒沢尻工業高校

② 修理車いす台数:10台

#### 成果や課題等

黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった 車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉や ボランティア活動について理解を深めることがで きました。

活動場所の受入体制や移動方法等の課題があり、修繕活動場所の開拓はできませんでした。

【指標】修理台数10台、修繕活動場所の開拓 【結果】修理台数10台、修繕活動場所は未開拓

#### 事業名、内容及び実績

- 3 福祉教育等に関する連絡会
  - ① 期 日:6年11月6日(水)
  - ② 会 場:北上市総合福祉センター
  - ③ 参加者:28名
  - ④ 内 容:
    - ・福祉教育等の目的や期待される効果等について
    - ・事例紹介 市内の学校で行われている 福祉・ボランティア活動
      - ア クリーン作戦活動 南小学校
      - イ 江釣子駅舎清掃ボランティア活動 江釣子中学校
      - ウ スマホお悩み相談会ボランティア 活動

北上コンピュータ・アカデミー

・福祉教育等の推進に関する情報交換

#### 成果や課題等

市内全ての小学校、中学校、高校及び専門学校の先生を対象に、当協議会事業の周知、福祉教育及びボランティア活動に係る取り組みや課題等の意見交換を行い、福祉教育等の充実と推進等を図ることを目的に開催しました。

各校での福祉教育等の取り組みの一助としていただくため、ボランティア活動の事例紹介やグループワーク形式で教員同士の情報交換・情報共有を行いました。

今後は、連絡会に出席いただいた教職員が中心となり自校において福祉教育等に取り組んでいただけるような仕組みづくりや連絡会の資料作成を工夫します。

【指標】連絡会年1回実施

【結果】連絡会年1回実施

#### 基本目標2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 小地域ネットワーク活動では、地域の協力をいただきながら小地域を単位とした見守り活動、安否確認及び除雪活動等により、要支援者に対する生活支援を行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業及び生活支援コーディネーター活動事業では、関係機関との会議等を通じて情報収集・共有を図り、アウトリーチ活動の強化を意識して地域・支部訪問活動を増回しました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、コーディネーター同士の連携を図りなが ら、アウトリーチ活動等により新たな地域資源の発掘や地域活動の立ち上げ支援等を 行いました。
  - (1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等が SOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

#### 事業名、内容及び実績

# 1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民 グループ支援事業(小地域ネットワーク活動)

(1) 通年活動

(2) 除雪活動

① ネット数:13支部、309ネット

② 中心者会議: 29回開催③ 協力者会議: 423回開催

※月別状況等はP34~35参照

① 対象世帯数:500世帯(ネット対象者と重複有)

② 協力者数:585名 (ネット対象者と重複有)

③ 活動回数:5,676回 (ネット対象者と重複有)

#### 成果や課題等

小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。

また、一人暮らし高齢者世帯等、自力で除雪を 行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を 行いました。

なお、北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。

除雪に関する相談が増加傾向であり、協力者の 高齢化や不足している地区があることから、中高 校生や企業等が参加しやすい仕組みづくりを検討 し、若い世代の担い手の確保に努めます。

【指標】事業認知度25%

【結果】事業認知度15%

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

### 事業名、内容及び実績

- 1 コミュニティソーシャルワーカー (CS
  - W)活動事業
  - (1) 通年活動
    - ① 配置人数: 4名(兼務)
    - ② 有資格者数:11名
    - ③ 相談件数:89件(生活環境、生活困窮、除雪等)
    - ④ 訪問件数:46件(個別ケース対応)
    - ⑤ 訪問活動:76回(支部、事業所等)
    - ⑥ ケース検討会:29回
    - ⑦ CSW会議:12回
    - ⑧ その他:140回(出前講座対応、研修受講等)

#### 成果や課題等

定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応方法等を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議への出席や各種団体へのアウトリーチ活動により、地域における福祉課題等を情報収集しました。また、生活支援コーディネーターやひきこもり相談支援員、暮らしの自立支援センターきたかみ職員等と連携し、課題を抱えた世帯への相談支援活動を行いました。

地域で見守りが必要な要支援者と地域内の社会 資源等との関わりが一目で分かるよう、マップの 作成や更新の参考とするため、市内の生活支援コ

#### (2) 支え合いマップの作成

① 作成済地区:23地区

② マップづくり研修会

期 日:6年7月11日(木)

会場:立花地区交流センター

参加者: 6名(CSW、1層及び2層生活

支援コーディネーター)

内容:立花地区のマップづくりについて

#### 成果や課題等

ーディネーターとともにマップづくり研修会を開催しました。

今後も、小地域ネットワーク活動の会議等に参加するなど積極的にアウトリーチ活動を行い、潜在ニーズや課題の把握、地域資源の開発等に努めるとともに、マップを活用する利点等を周知し、地域で取り組むマップ作成や更新作業の支援を行います。

【指標】事業認知度10%

【結果】事業認知度5%

#### 事業名、内容及び実績

#### 2 生活支援コーディネーター活動事業

【市委託事業】

配置人数:1名
 有資格者数:3名

③ 相談件数:43件(当協議会事業、生活課題等)

④ 訪問件数:14件(個別ケース対応)

⑤ 訪問活動:38回(支部、事業所等)

⑥ ケース検討会:10回

⑦ S C 会議: 12 回

⑧ その他の活動:82回(養成講座、研修等)

#### 成果や課題等

第1層コーディネーター(北上市、社協)と第2層コーディネーター(地域包括支援センター)の定例会議に出席し、活動状況や課題等を協議し情報共有を図りました。なお、アウトリーチ活動や地域活動の場を訪問し、新たな地域資源の発掘や立ち上げに係る支援を行いましたが、十分な把握までには至りませんでした。

今後は、高齢者の生活支援ニーズや地域課題の 把握と地域の福祉意識の向上を図ること、また、 生活課題や地域課題を解決する仕組みづくりを研 究します。

【指標】事業認知度10%、養成研修への参加

【結果】事業認知度6%、養成研修は未参加

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

#### 事業名、内容及び実績

#### 1 広域社協事業

(1) 令和6年度北上・和賀広域社協総会

①期日:6年6月27日(木)

② 会 場:ブランニュー北上

③ 出席者: 25名(うち北上社協15名)

④ 内 容:

・5年度事業報告及び収支決算について

・6年度事業計画及び収支予算について

(2) 令和6年度北上·西和賀地区民生委員· 児童委員研修会

① 期 日:6年10月3日(水)

② 会 場: さくらホールfeat. ツガワ(大ホール)

③ 参加者:183名

④ 講 演:

演題:「児童虐待の防止、早期発見・早

#### 成果や課題等

5年度事業報告及び収支決算報告、6年度事業 計画及び収支予算等について審議を行いました。

また、北上市及び西和賀町両社協の事業や地域福祉活動に関する情報交換を行いました。

【指標】広域社協事業計画により実施

【結果】広域社協事業計画により概ね実施

民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南 広域振興局花巻保健福祉環境センターと協働によ り研修会を開催しました。

講演は、民生委員児童委員活動の参考としていただくため、児童虐待に関する対応方法や高齢者の生活支援等について、民生委員・児童委員に期待される役割等の理解を深めました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
期対応について」	
講師:岩手県福祉総合相談センター	
児童女性部長 大向 幸男 氏	
演題:「頼れる人がいない方の生活支援	
~支援の実際と課題~」	
講師:地域包括支援センターわっこ	
認定社会福祉士 竹花 由香 氏	
(3) 北上·和賀広域社協役職員研修会	役職員の資質向上及び北上市、西和賀町両社協
※中止	の情報交換を目的に開催予定でしたが、研修時期
	や内容等を勘案し中止しました。

#### 基本目標3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターきたかみでは、物価等の高騰の影響を受けて生活に困窮している方々に対する相談に対応し、支援を行いました。また、昨年度に引き続き赤い羽根共同募金「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、生活困窮者等に対する食料品等の配付を通じたアウトリーチや相談事業等により生活支援を行いました。
- 訪問介護事業では、介護人材不足と物価高騰による経費増加が続く中、限られた人材で利用者ニーズに応じたサービス提供に努めるとともに、処遇改善や働きやすい環境づくりに努めました。
- 住まいの片付け応援事業では、支援対象世帯に対して、福祉関係者や近隣住民、ライフライン(電気)業者等の協力をいただき迅速な支援活動を行い、住環境の改善や福祉サービスの利用につなげることができました。
- 生活困窮者自立相談支援機能強化事業及びひきこもり地域支援センター事業では、 アウトリーチ活動を強化し、支援が必要な方等の把握に努めるとともに、関係機関と 連携して包括的に支援を行いました。
- フードバンク運営事業は、企業等が独自で食料品を集める取り組みの拡大により寄付件数が増加し安定した運営につながっているとともに、支え合う地域づくりの気持ちが広がっています。
  - (1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 なんでも心配ごと相談センター事業	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解
	決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹
① なんでも心配ごと相談センター	介を行いました。
・北上市総合福祉センター	無料司法書士相談の件数が増加しており、債務
月曜日~金曜日 9:00~17:00	整理や相続等の相談に対し、専門的な助言により
(司法書士相談)	解決の方向性を見出す支援ができました。
毎月第2、4木曜日 13:00~16:00	また、相談内容においては、物価高騰の影響を

# 事業名、内容及び実績成果や課題等② 開設日数: 243日受け生活が困窮した方の相談が増加しましたが、③ 相談人数: 1,159名 (うち司法書土相談7回、8名)暮らしの自立支援センターきたかみと連携を図り④ 相談件数:延べ1,971件ながら対応することができました。※月別状況等はP35参照【指標】閉所に向けた整理

事業名、内容及び実績	成果や課題等	
2 福祉関連サービス等集約ガイド	令和7年度から新たに重層的支援体制整備事業	
	が実施予定であり、市内の相談支援体制等の変更	
北上市内の福祉サービス等を集約した冊	が想定されたことから、令和7年度に見直しする	
子を作成しています。	こととしました。	
	【指標】更新作成・配布、随時情報の更新	
	【結果】更新等は未実施	

#### 事業名、内容及び実績

#### 3 ひきこもり地域支援センター事業

【市委託事業】

- ① ひきこもり相談支援員1名
- ② 相談窓口の設置
  - ・新規相談者数: 29名(うちLINE相談2件)
  - 継続相談者数:38名
  - ・相談内容:不登校、就労、生活困窮、家 族関係など
  - ・対応件数:延べ428回
- ③ 個別相談会
  - 実施回数:8回
  - ・専門相談員:そらをみた会代表(岩手県ひきこもり支援センター相談員)

阿部 直樹 氏

- 相談者数:延べ24名(実人数10名)
- ④ LINEによる情報発信:12回 LINE登録者:19名
- ⑤ 北上市ひきこもりネットワーク協議会
  - 協議会への参加:2回
- ⑥ 研修会

·期 日:7年2月27日(木)

·会 場:日本現代詩歌文学館

・参加者:112名

- ・北上市内の取り組みの紹介
- •活動発表:

発表者:労働者協同組合ワーカーズ コープセンター事業団

#### 成果や課題等

【結果】令和6年度をもって閉所

ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、当事者や家族、関係機関からの相談に応じ、助言や情報提供を行うとともに、ひきこもり状態及び不登校の方やその家族が抱える複合的な課題や悩みについて、専門相談員の助言をいただく個別相談会を開催し、複雑化・長期化している課題へ対応することができました。

不登校・ひきこもり支援の周知啓発として、講演会を開催し、市民や関係機関の方に広く理解をいただくことができました。また、昨年度から運用を開始したLINEを活用し、新たに登録者に向けた不登校・ひきこもり支援に係る情報提供を行い、この情報から個別相談会等につながるケースもありました。

SOSを出せない当事者など相談まで至らない 方に対するアプローチの方法、また、不登校の児 童生徒や高校退学等により孤立してしまう方に対 する学校等との連携の強化方法を検討・研究しま す。

【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度6%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
北上笑いのたね事業所	
所長 後藤 誠子 氏	
• 講 演	
演題:「ひきこもり 心の距離を縮める	
コミュニケーション」	
講師:山口大学大学院医学系研究科	
保健学専攻 教授 山根俊恵 氏	
※月別状況等はP36参照	

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの 開拓と既存サービスの随時見直し

#### 事業名、内容及び実績 成果や課題等 日常生活自立支援事業・成年後見推進支 金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等 援事業【県社協委託事業】 から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払 いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福 ① 専門員及び生活支援員数 祉サービスを利用するために必要な手続き等を支 ・専門員 2名、生活支援員 14名 援しました。 なお、特にも高齢の利用者が多いことから、定 ② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 · 生活支援員会議 期的な訪問による利用者の生活や体調の変化等の 2回 · 関係機関連絡会議 1回

- ③ 契約件数及び支援状況等
  - •契約件数(今年度): 9件
  - ·契約件数(累 計):178件(支援中57件)

(関係機関連絡会議には生活支援員会議を含む)

・専門員訪問回数:159回 · 支援員支援回数:735回 ※月別状況等はP36参照

# ④ 契約件数(市町別)

	令和6年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	36	139
西和賀町	21	39
計	57	178

#### ⑤ 契約件数 (対象者別)

契約者 事 項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	うち 生活保護
契約件数	110	41	25	2	178	
実利用者	23	23	11	0	57	12

見守りを行い、ケース会議等で関係機関との情報 共有を行いました。

また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図 るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲 載による普及啓発を行いました。

【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度6%

#### 2 車いす及びチャイルドシート貸出事業

(1) 車いす

① 利用者数:延べ95名

② 保有台数:9台

(2) チャイルドシート

① 利用者数:41名

② 保有台数:31台(うち寄付台数:15台)

(今年度寄付:なし)

#### 成果や課題等

利用希望者に対して希望どおり貸出しを行うことができ、障がい者や高齢者、子育て世帯の社会参加や移動の一助となりました。

チャイルドシートは、利用者数の増加からも事業の認知度や定着化が図られてきている一方、時期によっては貸出希望が集中することもあることから、寄付呼びかけの周知を強化します。

【指標】事業認知度 20%

【結果】事業認知度 車いす貸出17%、チャイルドシート貸出11%

事業名、内容及び実績

#### 3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】

① 利用登録者数:30名

② 配食日数:192日

③ 提供食数:延べ2,280食

④ 調理ボランティア人数:延べ687名

⑤ 配送ボランティア人数:延べ971名

※月別状況等はP36参照

#### 成果や課題等

在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者 のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティア の協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事 の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。

また、季節に応じた献立作成や行事食を提供するとともに、保育施設給食との献立交換を通じ、園児と高齢者が福祉への親しみと関心を高めました。

【指標】アンケート実施準備

保育施設等の献立交換3カ所

【結果】アンケート実施準備未着手

保育施設等の献立交換3カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 北上おげんき発信事業	見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話
	での安否確認による見守りを行い、不安の解消に
利用登録者数:12名	つなげました。
※月別状況等はP37参照	また、利用者の日々の発信状況や会話の様子等
	から、必要に応じてケアマネジャーやサービス提
	供事業者と情報共有を行う等、利用者の生活状況
	にあわせた支援を行いました。
	【指標】事業認知度5%
	【結果】事業認知度4%

	事業名、内容及び実績	成果や課題等
5	障がい者等生活支援事業【市委託事業】	視覚障がい者の自立生活を支援することを目的
	※各種感染症対策により中止	に料理教室を開催する予定でしたが、各種感染症
		対策のため中止しました。
		新型コロナウイルス感染症流行以前から、参加
		者が固定化・減少傾向にあることから、ニーズや
		事業のあり方等について市と協議を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	【指標】延べ参加者10名
	【結果】未実施

#### 6 声及び点字広報作成事業【市委託事業】

- (1) 声の広報作成事業
  - ・ 朗読内容及び回数

広報きたかみ12回社協だより4回市議会だより4回敬愛園だより12回ふれあい1192回物故者12回

月刊さくらホール 12回

・総発送数:延べ463回

• 利用者数:13名、2 施設

・朗読団体:サークルのぎく 13名サークルせきれい 12名

#### (2) 点字広報作成事業

・点訳内容及び回数

広報きたかみ 12回

総発送部数:31部利用者数:2名

・点字作成団体:北上点訳の会 18名

(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会

·期日:7年1月29日(水)

・会場:ホテルシティプラザ北上

・出席者:36名【利用者2名、ガイドヘルパー 2名、ボランティア26名(のぎく 7名、せきれい10名、北上点訳の 会9名)、役職員6名】

・内 容:情報交換、意見交換、山田流 筝曲修声会」による演奏、昼食・ 懇談

#### 成果や課題等

広報きたかみや社協だより等の掲載内容を声の 広報(CDまたはカセットテープに録音)として 作成し、視覚障がい者に情報提供しました。

また、録音した声の広報をボランティア会員内 で確認するなど、音読の速さや発音等の技術の向 上に努めました。

【指標】事業認知度10%

【結果】事業認知度7%

※声の広報及び点字広報作成事業 同一指標

広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。

また、定期的に勉強会を開催し、ボランティア 会員同士の交流を図るとともに、点訳ミスの有無 等について確認し、技術の向上に努めました。

声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催しました。

利用者とボランティアがお互いの声を直接聞く ことができる貴重な機会となり、活発な情報交換 及び意見交換を行うことができ有意義な交流会と なりました。

また、所属団体を超えたボランティア同士の交流の機会となり、今後の活動意欲の向上が図られました。

# 事業名、内容及び実績

#### 7 居宅介護支援事業

契約者数:41名

※月別状況等はP37参照

#### 成果や課題等

利用者が自立した生活を継続できるよう、心身の状態や生活環境等を総合的に評価し、ケアマネジメントの継続的な実施により、個別の状況に応じた支援を行いました。また、地域包括支援センターや医療・介護・福祉サービス事業者等と連携を密にしながら、困難ケースも含めきめ細やかな支援を行いました。

引き続き、きたかみ型地域包括ケアビジョンの 方針に沿い、地域とのつながりを重視しながら、

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	利用者の在宅生活の質の向上に寄与できるよう支
	援します。
	【指標】継続実施 【結果】継続実施

	,
事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 障がい者相談支援事業	障がい者や家族等の相談に応じ、利用者が希望
	する生活を実現するため、必要なサービスの情報
契約者数:37名	提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課
※月別状況等はP37参照	題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がい
	の特性や生活段階に沿ったサービス等利用計画を
	作成しました。
	引き続き、障がい者が自立した生活を送ること
	ができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事
	業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った
	事業を実施するとともに、高齢障がい者が介護保
	険制度へスムーズに移行し、切れ目なくサービス
	が利用できるよう支援します。
	【指標】継続実施 【結果】継続実施

(1) 訪問介護事業(介護保険) ① 契約者数:17名 ② 利用者数:延べ181名 ③ 派遣回数:1,598回 ※月別状況等はP38参照  (2) 障害者訪問介護事業(障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照  立した生活が継続できるよう、身体介護や生活援助等の支援を行うとともに、介護支援専門員や関係機関と連携し、利用者の心身状況や生活環境に応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いました。また、複雑な生活課題や家族支援を要するクースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。【指標】継続実施 【結果】継続実施 「障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、不の他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。		
(1) 訪問介護事業(介護保険) ① 契約者数:17名 ② 利用者数:延べ181名 ③ 派遣回数:1,598回 ※月別状況等はP38参照  (2) 障害者訪問介護事業(障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照  立した生活が継続できるよう、身体介護や生活援助等の支援を行うとともに、介護支援専門員や関係機関と連携し、利用者の心身状況や生活環境に応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いました。また、複雑な生活課題や家族支援を要するクースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。【指標】継続実施 【結果】継続実施 「障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、不の他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。	事業名、内容及び実績	成果や課題等
① 契約者数:17名 ② 利用者数:延べ181名 ③ 派遣回数:1,598回 ※月別状況等はP38参照	9 訪問介護事業	要支援や要介護状態となった高齢者が在宅で自
② 利用者数:延べ181名 ③ 派遣回数:1,598回 ※月別状況等はP38参照  係機関と連携し、利用者の心身状況や生活環境に応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いました。また、複雑な生活課題や家族支援を要するケースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。【指標】継続実施 【結果】継続実施 【結果】継続実施 「指果】継続実施 「 2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照  「 2) におきるとができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ解やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。	(1) 訪問介護事業(介護保険)	立した生活が継続できるよう、身体介護や生活援
③ 派遣回数:1,598回 ※月別状況等はP38参照  応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いました。また、複雑な生活課題や家族支援を要するクースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。【指標】継続実施 【結果】継続実施 【結果】継続実施 「 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照  応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いました。	① 契約者数:17名	助等の支援を行うとともに、介護支援専門員や関
※月別状況等はP38参照 た。また、複雑な生活課題や家族支援を要するケースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。 課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 [結果】継続実施 [結果】継続実施 [結果】継続実施 [ 3 解清国数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 第事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、不可他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ経やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。	② 利用者数:延べ181名	係機関と連携し、利用者の心身状況や生活環境に
一スにも、他職種と協力をしながら適切な支援を行いました。 課題である訪問介護員の人材確保に関しては、募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 (2) 障害者訪問介護事業(障害者総合支援法) ① 契約者数: 25名 ② 利用者数: 延べ256名 ③ 派遣回数: 2,441回 ※月別状況等はP38参照 (2) 障害者認合支援法) ② 利用者数: 延べ256名 ③ 派遣回数: 2,441回 ※月別状況等はP38参照 (3) にごて、身体 介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介 護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ紹やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。	③ 派遣回数:1,598回	応じた支援計画に基づき柔軟な対応を行いまし
行いました。 課題である訪問介護員の人材確保に関しては、 募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通 じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 (2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 (2) 障害者総合支援法) の生活全般にわたる援助を行い、在宅で の生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ解 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	※月別状況等はP38参照	た。また、複雑な生活課題や家族支援を要するケ
課題である訪問介護員の人材確保に関しては、 募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通 じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 (2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 にできることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体 介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介 護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅で の生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。		ースにも、他職種と協力をしながら適切な支援を
募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 第集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 「指標】継続実施 【結果】継続実施 障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。		行いました。
じて、安定的なサービス提供体制を維持します。 【指標】継続実施 【結果】継続実施 (2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法) ① 契約者数: 25名 ② 利用者数: 延べ256名 ③ 派遣回数: 2,441回 ※月別状況等はP38参照 (2) 利用者数: 延べ256名 (3) 派遣回数: 2,441回 (4) できることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体のでいる。 第、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組合でいる支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。		課題である訪問介護員の人材確保に関しては、
【指標】継続実施 【結果】継続実施 ① 障害者訪問介護事業(障害者総合支援法) ① 契約者数:25名 ② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 ② 12,441回 ※月別状況等はP38参照		募集方法の見直しや更なる職場環境の向上等を通
(2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法)		じて、安定的なサービス提供体制を維持します。
① 契約者数: 25名 ② 利用者数: 延べ256名 ③ 派遣回数: 2,441回 ※月別状況等はP38参照  ② るよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらサービスの提供に努めます。		【指標】継続実施 【結果】継続実施
② 利用者数:延べ256名 ③ 派遣回数:2,441回 ※月別状況等はP38参照 の生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	(2) 障害者訪問介護事業 (障害者総合支援法)	障がい者が自立した日常生活を送ることができ
③ 派遣回数: 2,441回 ※月別状況等はP38参照 の生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	① 契約者数:25名	るよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体
※月別状況等はP38参照 の生活を支援しました。 引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	② 利用者数:延べ256名	介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介
引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ組 やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	③ 派遣回数:2,441回	護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅で
やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を 図りながらサービスの提供に努めます。	※月別状況等はP38参照	の生活を支援しました。
図りながらサービスの提供に努めます。		引き続き、一人ひとりのニーズに応じたきめ細
		やかな支援を行うとともに、関係機関との連携を
		図りながらサービスの提供に努めます。
【指標】継続実施 【結果】継続実施		【指標】継続実施 【結果】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 障害者等移動支援事業(障害者総合支援法)	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援し
	ました。
① 契約者数:8名	ガイドヘルパーの確保が困難な状況にあること
② 利用者数:延べ31名	から、利用者のご理解をいただきながら、可能な
③ 派遣回数:68回(買物、趣味活動等)	限り利用希望に沿うよう支援を行います。
※月別状況等はP38参照	【指標】継続実施 【結果】継続実施

		·
	事業名内容及び実績	成果や課題等
11	成年後見利用支援事業	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力
		の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産
	受任者数:1名(保佐人1名)	管理について不利益を被ることがないよう、当協
		議会が成年後見人として、受任者の生活を支援し
		ました。
		【指標】事業認知度10%
		【結果】事業認知度9%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
12 訪問理美容事業	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の
(ふれあいのまちづくり事業)	希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業
	組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、
① 利用者実数:21名	自宅を訪問し理容・美容(整髪)を行いました。
② 利用回数:30回(理容店25回、美容店5回)	利用者実数及び利用回数とも減少しましたが、
※月別状況等はP34参照	事業に対する問い合わせは一定数あることから、
	事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよ
	りや支部活動、ケアマネジャー等福祉関係者への
	広報活動を行うとともに、当協議会事業で対象と
	なり得る方々に対して周知を図ります。
	【指標】事業認知度15%、利用実態調査の準備
	【結果】事業認知度11%、利用実態調査の準備
	は継続中

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 住まいの片づけ応援事業	自宅又は敷地内にごみが放置され、生活に支障
	がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築
① 相談件数:5件(片付けに関する相談2件、事業内	しながら、地域で安心して生活することができる
容等に関する照会3件)	よう生活環境の改善を支援しています。
② 訪問件数: 3件	相談のあった世帯への訪問調査、本人や親族、
③ 打合会議: 3回	地域支援者との協議等を踏まえ、2世帯の片付け
④ 実施件数:2世帯3回	を支援しました。
【1回目】	清掃活動に至らないケースもありましたが、清
・期 日:7年1月14日(火)	掃業者の紹介や定期的な訪問活動による生活状況
・活動人数:13名	確認等を継続しています。
・連携機関:地域包括支援センター、民生	片付けに関する相談や増加しており、協力者な

#### 委員児童委員

【2回目】※1回目と同一世帯

·期 日:7年2月19日(水)

·活動人数:15名

・連携機関:地域包括支援センター、民生

委員児童委員、社協支部

#### 【3回目】

期 日:7年3月14日(金)

活動人数:11名

·連携機関:居宅介護支援事業所、地域包

括支援センター、民生委員児

童委員、北上市職員

#### 成果や課題等

ど多くの人員が必要な場合もあり、協力者の確保 が課題となっていることから、ボランティアの募 集など実施体制の仕組みを検討します。

【指標】随時事案に応じて実施対応

【結果】相談全てに実施対応

# (3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

#### 事業名、内容及び実績

# 1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】

① 開設行政区:125行政区

② 開設ふれデイ箇所:148箇所

③ 実施回数:延べ1,612回

④ 利用者数:延べ16,334名(参加率23%)

⑤ ふれデイ協力者数:延べ7,943名

※月別状況等はP39参照

#### 成果や課題等

地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動(趣味活動、レクリエーション活動等)を実施し、高齢者の生きがいづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図りました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過し、運動や世代間交流、移動を伴う実施内容が増加し、関係者の協力により充実した活動を行うことができました。

今後は、広い世代の参加による地域づくりの場としての活用を検討します。

【指標】参加率25%、世代間交流を行っている ふれデイ数15カ所

【結果】参加率23%、世代間交流を行っている ふれデイ数15カ所

#### 事業名、内容及び実績

#### 2 障害者地域活動支援センター事業

#### 【障害者総合支援法】

① 創作活動及び機能訓練:6教室

② 契約者数:33名③ 開催回数:99回

④ 利用者数:延べ494名

※月別状況等はP39参照

#### 成果や課題等

障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。

障がい状況により、支援を必要とする方が多く 利用する教室にはボランティアに協力いただき、 利用者が安心・安全に活動できる環境づくりに努 めました。

【指標】利用登録者数40名、事業のあり方検討

【結果】利用登録者数33名、事業のあり方は次期 障がい者プランの策定に合わせて検討

#### 3 子育て支援事業

- (1) 子育てサロン
  - ① 開催回数:6回【第3木曜日、10時~正午)】
  - ② 会 場:北上市総合福祉センター
  - ③ 参加者数:延べ62名
  - ④ ボランティア活動人数:延べ33名

※月別状況等はP39参照

(2) 子育て用品お譲り会

※各種感染症対策により中止

#### 成果や課題等

子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、 乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開 設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、 子育ての不安や悩みを軽減しました。

なお、開催回数を見直して隔月開催とし内容の 充実を図ることにより、親子や参加者同士の交流 も活発になり、継続して参加する親子が増加して います。

子育で用品お譲り会は、各種感染症対策のため 中止しました。

【指標】サロン開催 年6回、子育て用品譲渡 会開催 年1回

【結果】サロン開催 年6回、子育て用品譲渡 会開催 未実施

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

#### 事業名、内容及び実績

- 生活困窮者自立支援事業【市委託事業】 (自立相談支援、家計改善支援、就労準備 支援、子どもの学習支援、自立相談支援 機能強化)
  - ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置 主任相談支援員1名、相談支援員兼就労 支援員1名、家計改善支援員1名、就労 準備支援員1名、学習相談支援員1名、 アウトリーチ相談支援員1名
  - ② 相談者実数:229名
  - ③ 相談申込 (同意) 者数:49名
  - ④ プラン策定者数:40名 (再プラン4名を含む)
  - ⑤ 相談方法及び内容
  - ※月別状況等はP40参照

#### 成果や課題等

年齢や属性に関わらず広く相談に対応し、個別 ケースに応じて包括的・継続的な支援を行いました。また、アウトリーチ活動により、支援を必要と する方の把握に努めました。

物価高騰等の影響を受け、生活が困窮した方や 就労が安定せず収入が不安定な方等が増加しまし たが、関係機関と連携を図りながら支援を行うこ とができました。

複雑かつ多くの課題を抱えた世帯からの相談や 精神疾患の方、長期にわたり継続的な支援が必要 な世帯が増加していることから、令和7年度新た にスタートする重層的支援体制整備事業の仕組み を活かしながら相談体制の強化を図り、関係機関 と連携し支援を行います。

【指標】プラン作成による要支援者の自立の 割合60%

【結果】プラン作成による要支援者の自立の 割合48%

西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を 支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継 続的な相談支援を実施しました。

なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に 再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相 談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援 に努めました。

今後も、支援を必要とする方を広く把握するた

西和賀町生活困窮者自立支援事業

(自立相談支援)

【県委託事業】

① 相談支援員1名

② 相談者実数:44名

③ 相談申込 (同意) 者数:2名

④ プラン策定者数:2名

⑤ 相談方法及び内容

事業名、内容及び実績	成果や課題等
※月別状況等はP41参照	め、事業の周知やアウトリーチ活動を積極的に行
	い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の
	支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 フードバンク運営事業	当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要
	な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の
① 寄付件数:322件(うちフードポスト71件)	確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができ
② 提供件数:341件	ました。
※月別状況等はP42参照	なお、毎月ホームページやSNSで実績等を周
	知するとともに、寄付受領時にマスコミに取材依
	頼することにより、事業の認知度が向上し、個人
	に加え企業や団体等からの新たな寄付の申し出も
	増加しています。
	【指標】事業認知度25%
	【結果】事業認知度22%
2-1 物品貸出	
① 貸出件数:11件	ライフラインが一時的に停止し、生活に支障が
② 貸出内容:カセットコンロ、ランタン	ある相談者に対して、必要物品を貸出しし、生活
電気ポット、調理なべ等	支援及び就労支援等を行いました。

# 3 子どもの学習支援事業(まるまる学び塾) 【市委託事業】

- ① 開催回数:54回
  - ・毎月第1及び第3木曜日17:00~19:00
  - ・毎月第2及び第4土曜日10:30~14:30
  - ・夏休み及び冬休み各5日10:30~14:30
- ② 会 場:北上市生涯学習センター
- ③ 登録者数:18名(小学生13名、中学生5名)
- ④ 参加者数:延べ284名
- ⑤ ボランティア活動人数:延べ250名
- ⑥ それぞれの進路相談会
  - ·期 日:6年9月28日(土)
  - ・会 場:北上市総合福祉センター
  - ·参加者: 29名(生徒·保護者11名、教員4名、

関係者14名)

※月別状況等はP42参照

#### 成果や課題等

家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が 十分にない子どもたちを対象に、学習支援ボラン ティアの協力を得て学習支援と学習の場(居場所 づくり)の提供を行いました。

登録世帯の子ども達は、ボランティア等の大人 と関わる中で、自己肯定感を高めながら広い視野 を持つことができる場となっています。

なお、進学・就職など様々な進路があることを 紹介し進路選択の一助となるよう、進路相談会を 実施しました。

【指標】利用登録者数25名

【結果】利用登録者数18名

#### 4 地域まるまる食堂(子ども食堂)事業

① 開催回数:11回

② 会 場:北上市生涯学習センター

③ 参加者数:延べ345名(小学生58名、中学生21名、

保護者等109名、一般68名

ボランティア89名)

④ 内 容: あそびの時間、まなびの時間、

食堂開設

⑤ 市内子ども食堂数:5カ所

⑥ 開設相談: 2件

※月別状況等はP43参照

#### 成果や課題等

学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」(子ども食堂)を実施しました。

子どもだけではなく、保護者や地域の方にも参加していただき、世代間交流を行うことでみんなの居場所づくりとなっています。

また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応し、地域づくり等の支援を行うことができました。

【指標】月1回開催、開設相談に随時対応

【結果】月1回開催、開設相談2件

## 事業名、内容及び実績

#### 5 たすけあい資金貸付事業

① 貸付状況:57件 1,115,000円

② 償還状況:74件 691,000円

③ 貸付残高:98件 2,132,000円

(貸付残高は徴収不能欠損処理後)

※月別状況等はP43参照

#### 成果や課題等

低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子 で貸付けしました。

物価やエネルギー高騰の影響を受け、水道光熱費の支払いに係る貸付けが大きく増加しました。

世帯の自立に向けて生活困窮者自立支援事業と 連携し、フードバンク運営事業から食料を提供し ながら迅速かつ効果的に対応しました。

【指標】事業認知度15%

【結果】事業認知度12%

#### 事業名、内容及び実績

#### 6 生活福祉資金貸付事業

(実施主体:岩手県社協、相談窓口:当協議会)

- ① 貸付状況: 32件、15,413,000円
- ② 償還状況:延べ5,770件、37,234,875円
- ③ 貸付残高: 1,114件、457,741,281円

※月別状況等はP44~47参照

# 成果や課題等

低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の 資金を低利子(一部無利子)で貸付けしました。

新型コロナウイルスに係る特例貸付については、償還が困難な世帯にフォローアップを行い、 償還免除や償還猶予、少額返済の申請について支援を行いました。

また、昨年度に引き続き、赤い羽根共同募金「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、 特例貸付者で支援の必要な方や当協議会相談者の 生活困窮者等に対し、食料品等の配付を通じたア ウトリーチ活動を行いました。

【指標】事業認知度15%

【結果】事業認知度12%

# 基本目標4 暮らしやすい地域環境づくり

- 買物支援事業では、社会資源の一覧を整理及び更新するとともに、北上市社会福祉 法人連絡会が実施した取り組みに参画・協力しました。
- ふれあい移送サービス事業では、老朽化が課題であった車両を更新し、更に安全・ 安心な移送サービスを提供しました。
- 北上市と「災害ボランティアセンター事業設置・運営に関する協定」を締結し、災害時におけるセンターの設置、運営及び円滑なボランティア活動の実施等について連携体制を構築しました。
  - (1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

して過ごとるようとく方	
事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 買物支援事業	買物支援を行う事業者等の一覧を最新の情報に
	更新するため、スーパーやコンビニエンスストア
① 買い物支援に係る事業所一覧更新作成	等を対象にアンケート調査を行いました。
・掲載事業所数:16事業所	更新した一覧は、掲載事業所や地域包括支援セ
•一覧送付先:86カ所(事業所、関係機関等)	ンター等の関係機関へ配布及び周知を行ったほか
・ホームページへの掲載	民生委員児童委員に配布しました
	また、社会福祉法人連絡会が取り組む買物支援
	事業に当協議会も参画・協力しました。
	【指標】買い物支援に係る一覧随時更新
	法人連絡会の買物支援に協力
	【結果】買い物支援に係る一覧更新・配布、
	ホームページに掲載
	法人連絡会の買物支援に協力実施

#### 内容及び実績

- 2 ふれあい移送サービス事業
  - ① 移送車両: 3台

(車いす搭乗2台、回転シート1台)

- ② 利用登録者数:76名
- ③ 利用人数:延べ324名
- ④ 運転ボランティア人数:延べ315名
- ⑤ 事務局対応: 9回
- ⑥ 介助ボランティア人数:延べ 0名
- ⑦ 新規ボランティア登録人数: 1名
- ※月別状況等はP48参照

#### 成果や課題等

既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等を対象に、通院や公共機関での諸手続きの際に移送サービスを提供し、生活支援を行いました。また、安全・安心な事業運営を行うため車両を更新しました。

事業の周知により利用希望者が増加傾向にあることから、ボランティアの確保に努めながら安定した事業運営を行います。

【指標】充足率100%

【結果】充足率 85%

#### 3 地域福祉活動応援事業

① 助成団体:1団体(継続)

・男だらけの育児caféいわて

② 助成金額:70,000円

※令和6年度から共同募金の公募助成に移行

#### 成果や課題等

地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して 助成を行い、地域福祉活動を応援しました。

今年度は継続1団体から応募申請があり助成を 行いました。

必要とする地域・団体等に活用いただけるよう 更に広報やホームページ等で周知を行い、事業の 認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を 行います。

【指標】助成団体数3団体

【結果】助成団体数1団体

#### 事業名、内容及び実績

#### 4 災害ボランティアセンター事業

(1) 広域市町村ネットワーク連絡会議の 実施

①期 日:6年10月28日(月)

②会 場:北上市総合福祉センター

③出席者:16名

④内 容:酒田市災害ボランティアセンター(山

形県) への職員派遣について

各機関・団体における災害対応の取り

組みについて

有事の役割分担について

- (2) 災害ボランティアセンター設置・運営に 係る研修訓練の実施及び参加
  - ① 北上·和賀広域圏(北上市·西和賀町)

·期 日:6年10月28日(月)

・会 場:北上市総合福祉センター

·参加者:43名

② 一関広域圏 (一関市、平泉町)

·期 日:6年10月24日(木)

・会 場:平泉町学習交流施設エピカ

参加者:1名

③ 胆江広域圏 (奥州市、金ヶ崎町)

•期 日:6年10月30日(水)

・会 場:奥州市総合福祉センター

•参加者: 2名

(3) 北上市との災害ボランティアセンター 設置・運営等に関する協定締結式

① 期 日:6年10月23日(水)

② 会 場:北上市役所

#### 成果や課題等

災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取り組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」を北上市で開催し、各機関等の災害対応の取り組みや有事の役割分担について協議しました。

また、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が県内各広域社協圏域で開催され、市町村社協災害時相互支援協定に基づき、支援社協として当協議会職員も参加し、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を共有し、関係機関との連携強化及び職員の資質向上を図りました。

なお、今年度は北上市と「災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定」を締結し、災害時におけるセンターの設置、運営及び円滑なボランティア活動の実施等について連携体制を構築しました。

令和6年7月に発生した山形県大雨災害では、 被災地災害ボランティアセンター運営支援のため、県内市町村社協に職員の派遣要請があり、当 協議会職員を派遣しました。

【指標】災害ボランティアセンター設置・運営 訓練実施

> 有事の際速やかに設置、災害 派遣時の職員派遣

【結果】災害ボランティアセンター設置・運営 訓練実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
③ 参加者:10名	市内における有事未発生
(4) 山形県大雨災害に伴う災害ボランティア	山形県豪雨災害に伴う酒田市災害ボラ
センター運営に係る職員派遣要請への協力	ンティアセンターへ職員1名派遣
① 派遣期間	
6年8月17日(土)~8月21日(木)	
② 派遣先	
山形県酒田市災害ボランティアセンター	
③ 業務内容	
災害ボランティアセンター運営支援	
(ニーズ・マッチング班)	

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 社協出前講座(病気及び障がい理解編)	地域で生活する認知症や障がい者等に対する理
① 派遣回数:13回	解を深めていただくため、学校や団体等からの要
<ul><li>・学童保育所:1回 ・小学校:9回</li></ul>	請に対応しています。
<ul><li>イベント:3回</li></ul>	学校によっては限られた時間での体験になるこ
② 参加人数:延べ1,041名	ともありましたが、体験前に障がいを持つ方への
③ 体験用具の貸出し:2回	接し方等について講義を行い、障がい者に対する
・小学校:2回 ・一般:1回	理解を深めることができました。
	また、障がい者福祉展や中部病院病院祭にキャ
	ップハンディ体験ブースを出展し、多くの方に障
	がい等について理解を深めていただくことができ
	ました。
	なお、当協議会Facebookを活用し、体験の様子
	等の情報発信を積極的に行いました。
	【指標】講師派遣10回、延参加者数500名
	【結果】講師派遣13回、延参加者数1,041名

#### 5 地域福祉を推進するための基盤づくり

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等 を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会に参画し、地域における公益的な取り組みに向けた協議 を進めました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働し、また、 協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、 事業の推進や運営に活用しました。
- 第5次北上市地域福祉活動計画における、令和6年度の指標の達成に向けて事業活動を実施しました。
- ○受託事業について北上市当局のご理解をいただき、事業費の見直しなど適正化を図る ことができました。

#### (1) 社会福祉協議会の運営

#### ① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回:6年4月15日(月)	第7回:6年10月15日(火)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 10名(役員4名、職員6名)
第2回:6年5月15日(水)	第8回:6年11月15日(金)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 10名(役員4名、職員6名)
第3回:6年6月17日(月)	第9回:6年12月16日(月)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 9名(役員4名、職員5名)
第4回:6年7月16日(火)	第10回:7年1月15日(水)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 10名(役員4名、職員6名)
第5回:6年8月19日(月)	第11回:7年2月17日(月)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 8名(役員3名、職員5名)
第6回:6年9月17日(火)	第12回:7年3月3日(月)
出席者 10名(役員4名、職員6名)	出席者 9名(役員4名、職員5名)

#### ② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項	
第1回	(1) 北上市社会福祉協議会たすけあい資金設置運営要綱の一部改正につい	
・6年5月30日(木)	て	
・出席者 理事9名	(2) 令和5年度北上市社会福祉協議会事業報告について	
監事3名	(3) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について	
	(4) 北上市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について	
	(5) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について	
第2回	(1) 第33回北上市民福祉大会被表彰者の決定について	
・6年8月29日 (木)	(2) 令和6年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について	
・出席者 理事10名	(3) 第5次北上市地域福祉活動計画について	
監事2名	(4) 北上市社会福祉協議会中期経営計画について	

開催期日	議題及び協議事項
第3回	(1) 当協議会事業及び地域福祉活動を推進する上での成果や課題等につい
・6年10月31日(木)	7
・出席者 理事10名	
監事3名	
第4回	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について
・6年12月20日(金)	
・出席者 理事9名	
監事2名	
第5回	(1) 北上市社会福祉協議会なんでも心配ごと相談センター設置運営規程の
・7年3月17日 (月)	廃止について
・出席者 理事11名	(2) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
監事3名	(3) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
	(4) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について
	(5) 北上市社会福祉協議会公用車運行管理規程の一部改正について
	(6) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)に
	ついて
	(7) 令和7年度北上市社会福祉協議会事業計画について
	(8) 令和7年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

# ③ 評議員会の開催状況

	EVOL		
開催期日	議題及び協議事項		
第1回	(1) 北上市社会福祉協議会たすけあい資金設置運営要綱の一部改正につい		
・6年6月20日(木)	7		
・出席者 評議員15名	(2) 令和5年度北上市社会福祉協議会事業報告について		
理 事4名	(3) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について		
監 事3名	(4) 北上市社会福祉協議会理事の選任について		
第2回	(1) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について		
・7年3月24日 (月)	(2) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について		
・出席者 評議員17名	(3) 北上市社会福祉協議会公用車運行管理規程の一部改正について		
理 事4名	(4) 北上市社会福祉協議会なんでも心配ごと相談センター設置運営規程の		
監 事3名	廃止について		
	(5) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について		
	(6) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)に		
	ついて		
	(7) 令和7年度北上市社会福祉協議会事業計画について		
	(8) 令和7年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について		

# ④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回	(1) 令和6年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに
・6年5月23日 (木)	一般会計執行状況について
・出席者 監事3名	(2) 令和5年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算に
理事4名	ついて

開催期日	監査内容
第2回	(1) 令和6年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに
・6年8月29日(木)	一般会計執行状況について
・出席者 監事2名	
理事2名	
第3回	(1) 令和6年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに
・6年11月25日(月)	一般会計執行状況について
・出席者 監事3名	
理事3名	
第4回	(1) 令和6年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに
・7年2月21日(金)	一般会計執行状況について
・出席者 監事3名	
理事4名	

# ⑤ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項	
第1回	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について	
・6年6月10日(月)		
・出席者 委 員5名		
事務局3名		

# ⑥ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回:6年4月15日(月)	出席者 43名(支部長13名、役職員30名)		
第2回:6年5月15日(水)	出席者 42名(支部長14名、役職員28名)		
第3回:6年10月21日(月)	出席者 28名(支部長14名、役職員14名)		
第4回:7年2月21日(金)	出席者 32名(支部長14名、役職員14名、市職員4名)		

# ⑦ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数				
第1回:6年4月15日(月) 出	出席者 30名	第7回:6年10月15日(火)	出席者 27名	
第2回:6年5月15日(水) 出	出席者 29名	第8回:6年11月15日(金)	出席者 30名	
第3回:6年6月17日(月) 出	出席者 31名	第9回:6年12月16日(月)	出席者 23名	
第4回:6年7月16日(火) 出	出席者 33名	第10回:7年1月15日(水)	出席者 27名	
第5回:6年8月19日(月) 出	出席者 31名	第11回:7年2月17日(月)	出席者 28名	
第6回:6年9月17日(火) 出	出席者 31名	第12回:7年3月3日(月)	出席者 27名	

# (2) 社協支部活動運営費の助成(単位:円)

支部名   支部運営費		<b>士如海岸弗</b>	福祉協力員	小地域ネット	ワーク事業費	Δ ₹L	
文章	沙石	<b>人</b>	活動費	ふれまち	住民グループ	合 計	
黒沢	尻北	724, 000	26, 000	18, 900	394, 400	1, 163, 300	
黒沢	尻東	620, 000	35, 000	23, 400	654, 050	1, 332, 450	
黒沢	尻西	558, 000	31,000	14, 150	389, 750	992, 900	
立	花	234, 000	9,000	5, 450	114, 400	362, 850	
飯	豊	673, 000	31,000	37, 400	327, 000	1, 068, 400	
	子	308, 000	14, 000	2,000	85, 600	409, 600	
更	木	166, 000	13, 000	12, 900	116, 850	308, 750	
黒	岩	157, 000	8,000	22, 700	71, 800	259, 500	
口	内	192, 000	18, 000	2,000	54, 000	266, 000	
稲	瀬	150,000	6,000	8,900	187, 050	351, 950	
相	去	548, 000	22,000	7, 400	469, 250	1, 046, 650	
鬼	柳	382,000	15, 000	19, 800	105, 600	522, 400	
江 釒	为 子	700,000	32, 000	7, 900	324, 350	1, 064, 250	
和	賀	862,000	64, 000	40,000	839, 550	1, 805, 550	
合	計	6, 274, 000	324, 000	222, 900	4, 133, 650	10, 954, 550	

# (3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会
· 利用件数: 1,033 件	の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉
・利用者数:17,734名	活動の拠点として貸出ししています。また、ボラ
② 和賀町総合福祉センター	ンティア団体や趣味の会等の活動の場としても多
· 利用件数: 332件	様に利用されています。
・利用者数:4,092名	施設管理にあたっては、北上市総合福祉センタ
※詳細はP48~49 参照	一屋上防水シートの修繕を行うとともに、適正な
	管理運営や経費の節減に努めました。今後も更な
	る経費節減に取り組みます。
	両センターとも経年による建物の修繕及び改修
	について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化	
内容及び実績	成果や課題等
1 総 会	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関
① 期 日:6年4月23日(火)	するニーズに対応するため、各法人の取り組みや
② 会 場:北上市保健・子育て支援複合施設	専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制
hoKkoふれあいホール	の強化を図り、地域における公益的な取り組みを
③ 出席者:会場11法人、書面8法人	実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進す
④ 内 容:	ることを目的に北上市社会福祉法人連絡会が組織
・ 5 年度事業報告及び収支決算について	化され、当協議会も参画し事務局を担っています。
・会員の加入について	今年度は法人合併に伴い新たに1法人が加入
・6年度事業計画及び収支予算について	し、市内19法人により組織化されています。
2 幹事会	幹事会では、各分科会の取組状況を確認・共有

#### 内容及び実績

(1) 第1回

① 期 日:7年3月6日(木)

② 会 場:北上市総合福祉センター

③ 出席者:市内社会福祉法人16法人、20名

④ 内 容:

・買い物支援事業の試行実施について

・6年度事業報告及び収支決算について

・会員の加入について

・役員の選任について

・7年度事業計画及び収支予算について

7年度総会について

3 監事会

①期 日:6年4月9日(月)

② 内 容:5年度事業報告及び収支決算

4 分科会

(1) 地域課題研究分科会

① 会議開催回数:2回

② 内 容:

買い物支援事業の試行実施及び検証 新たな地域課題の調査及び研究

③ 買物支援事業の試行実施

•利用登録者数:9名

実施回数:6回

第1回:6年7月19日(金)

第2回:6年8月20日(火)

第3回:6年9月20日(金)

第4回:6年10月18日(金)

第5回:6年11月20日(水)

第6回:6年12月20日(金)

(2) 人材育成・サービス向上分科会

① 会議開催回数:1回

② 内 容:研修会の内容等について

③ 研修会開催回数:2回

第1回

期 日:6年4月23日(火)

会 場:北上市保健・子育て支援複合施設

hoKkoふれあいホール

参加者:41名(会場:27名、オンライン:14名)

内容: いま求められる社会福祉法人

連携~社会福祉をめぐる動向

と全国の実践例~

講 師:社会福祉法人若竹会(宮古市)

常務理事 菊池 俊則 氏

#### 成果や課題等

し、今後の方向性や事業計画等を協議しました。

地域課題研究分科会では、今年度も買物支援事業を試行実施(継続実施)し成果や課題等の検証を行い、その結果、令和7年度は実施地区を拡充し実施することとしました。

人材育成・サービス向上分科会では、法人連携による公益的な取り組みの成り立ちや全国の好事例を学ぶ研修会及び権利擁護及び虐待防止に関する研修会を開催し、会員法人の資質向上の一助となりました。

総務及び広報活動分科会では、広報紙を作成し、 市内全戸への配布により連絡会の活動について周 知を図りました。

以下は、内容及び実績の続き

第2回

期 日:7年2月12日(水)

会場:北上市総合福祉センター

参加者:30名(会場:12名、オンライン:18名)

内容:利用者と働く仲間を紡ぐため

のリスクマネジメント

~権利擁護・虐待防止を中心に~

講 師:認定社会福祉士 高橋 勝 氏

(3) 総務及び広報活動分科会

① 会議開催回数:2回

② 内 容:

・広報誌発行(きたかみ福祉のオーケストラ)

発行日:6年9月20日 発行部数:39,000部

・7年度事業計画及び収支予算の検討

# (5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費:16,302,300円(詳細はP50参照)	市民、福祉団体及び企業等に会費の協力をいた
② 賛助会費: 606,000円(303件)	だくことにより、地域福祉活動に参加していただ
③ 団体会費: 98,000円(32件)	いています。
④ 特別会費: 1,455,000円(138件)	当会費は地域福祉を推進する貴重な財源である
合計 18,461,300 円	ことから、当協議会の認知度の向上を図り、会費
	の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活
	動を行い、新規会員の拡大に努めます。

# (6) 福祉基金の管理状況等

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数 6年7月29日(月) 出席者 7名

# ② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
・福祉基金	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事
寄付件数: 2件	業や市内子ども食堂に係る運営費など地域福祉活
寄付金額:128,000円	動に役立てました。
• 一般活動	また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の
寄付件数:29件	増進に役立てました。
寄付金額:999,057円(現金940,977円)	
(物品 58,080円)	
※詳細はP49 参照	

助成先(団体名)	助成内容	助成金交付 決定額(円)	助成額(円)
北上市手をつなぐ育成会	視察研修事業	70, 000	70,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
傾聴ボランティアきたかみ	傾聴活動スキルアップ及び広報事業	50,000	32,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会と会報の充実事業	43, 000	43,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	33, 000	33,000
北上市食生活改善推進員協議会	食育推進事業	80,000	80,000
合計(助成交付決定6団体、助成6団体)		286, 000	268, 000

# ③ 福祉基金積立額等(単位:円)

	5年度末 現在高	6 年度 積立額	6年度末 現在高	6 年度 利金額	備考
一般福祉基金	185, 115, 934	128, 000	185, 243, 934	2, 082, 031	
地域福祉基金	75, 481, 309	0	75, 481, 309	645, 631	うち福祉団体に 268,000 円を助成
合計	260, 597, 243	128, 000	260, 725, 243	2, 727, 662	

# (7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP51参照

① 一般募金の実績(単位:円)

目標額	12, 193, 000
実績額	12, 348, 546
達成率	101.3%

#### 実績額内訳

戸別募金	8, 120, 768
法人募金	2, 718, 195
街頭募金	342, 998
学校募金	529, 807
職域募金	412, 814
その他	223, 964

② 歳末たすけあい募金の実績(単位:円)

目標額	3, 407, 000
実績額	3, 271, 392
達成率	96.0%

# 実績額内訳

戸別募金	2, 273, 686
法人募金	348, 194
その他	649, 512

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績(単位:円)

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	1	6, 000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	73	438, 000
支援を必要とする世帯	163	978, 000
合計	237	1, 422, 000

#### (8) 地域福祉活動計画の推進

#### 内容及び実績等

令和5年度中に令和6年度から5年間を計画期間とする「第5次北上市地域福祉活動計画」 を策定終了予定としていましたが、「第4次北上市地域福祉計画」策定の事務作業の延伸に伴い、当地域福祉活動計画も今年度上半期に策定を完了しました。

今年度は、計画の初年度に当たることから、次のとおり策定推進委員会の開催をはじめ地域 福祉懇談会等で計画の説明や周知を行いました。

1 第2回地域福祉活動計画策定推進委員会の開催(※第1回は令和5年度中に開催)

期 日:6年7月18日(木)

会 場:北上市役所 出席者:委員13名

内容:第4次北上市地域福祉計画素案及び第5次北上市地域福祉活動計画案について

2 意見聴取の実施

パブリックコメント (意見の公募)

期 間:6年8月8日(木)から8月21日(火)まで

掲示場所等: 社協ホームページ、市役所本庁舎、北上市総合福祉センター、和賀町総合福

祉センター、市民活動情報センター

意見の応募:0件

3 会議の開催

(1) 社会福祉協議会事務局会議(1回開催)

- ・事業の方向性、指標の最終確認、計画策定推進委員会資料について
- (2) 北上市との合同会議(2回開催)
  - ・策定スケジュール、アンケート結果、グループインタビューについて
  - ・地域福祉懇談会について(進行の流れ、提示資料、説明内容、出席者)、その他
- 4 計画の周知

地域福祉懇談会【再掲】

- ・市内14カ所で開催、延べ参加人数475名
- ・参加者アンケート回答数254名(回答率53.5%)